

令和 4 年度

東京湾口航路事務所

随 意 契 約 理 由 書

(件 名) 令和 4 年度 東京湾中央航路船舶航行安全対策検討業務

本件は、下記の理由により、公益社団法人 東京湾海難防止協会と随意契約したい。

記

本業務は、東京湾中央航路開発保全航路整備事業（中ノ瀬西方海域）の施工場所周辺海域を航行する船舶に及ぼす影響及び船舶航行の安全確保のために必要な対策について、学識経験者、海事関係者並びに関係官公庁等で構成する委員会を設置し検討するものである。

中ノ瀬西方海域は東京湾の中央に位置し、多種多様な船舶が頻繁に行き交う輻輳海域である。

本業務の実施に当たっては、関係する法規を熟知した上で、船舶交通の特性や作業船による海上工事に精通していることが必要であり、高度な知見と多岐にわたる専門分野に精通していることが求められる。

よって、「工事の各施工段階における船舶航行安全対策を検討する上での着眼点」について技術提案を求め、仕様書に提案を反映し、本業務を遂行することにより、最も優れた成果が期待できる。

したがって、簡易公募型プロポーザル方式（総合評価型）により、発注することとした。

公益社団法人 東京湾海難防止協会は、本業務実施に係る簡易公募型プロポーザル方式により提出された技術提案書等及びヒアリング内容を建設コンサルタント等選定委員会において評価検討した結果、予定管理技術者の経験及び能力、実施方針及び特定テーマに対する技術提案の項目において当事務所が設定した技術提案書を特定するための評価基準を満たした参加表明書等の提出者である。

よって、会計法第 29 条の 3 第 4 項の規定により、公益社団法人 東京湾海難防止協会と随意契約を行うものである。

以上

